

首都圏大学非常勤講師組合・早稲田ユニオン分会結成宣言

本日、首都圏大学非常勤講師組合は臨時総会を開催し、早稲田ユニオン分会の結成を決議しました。

本年3月19日の当組合との団体交渉の場において、早稲田大学理事会は早稲田で働く非常勤講師に対し5年雇止め、4コマ上限等、労働契約の不利益変更を行う意志を明らかにしました。以来、当組合は、この不利益変更に不同意を表明し、抵抗を続けてきました。とりわけ、① 本年、4月1日、不利益変更を規定した非常勤講師就業規程の施行に対して、同規程制定過程の法律違反を突き刑事告発、刑事告訴を行なう。また、② 6月18日、4コマ上限に向けた全学のコマ減実施計画の発表に対し、この計画の撤回を要求。さらに、③ 7月3日の法学部による脱法クーリングアンケートの実施に対し、これを批判する記者会見を行う。このように、首都圏大学非常勤組合は労働契約の不利益変更の実現をめざす理事会側の一連の動きに対して、ことごとく強力な抵抗を行ってきました。これらの行為の不当性を早稲田大学の内外に広く明らかにしつつ、非常勤講師のみなさんの組合への加入・運動への結集を呼びかけてきたのです。その結果、早稲田大学の非常勤講師102人が当組合の組合員となりました。首都圏大学非常勤講師組合は、労働契約の一方的不利益変更を撤回させていく運動を早稲田大学の内部から本格的に展開していく準備が整ったと判断し、ここに早稲田ユニオン分会の結成を決意しました。

早稲田ユニオン分会は、労働契約の一方的不利益変更に反対し、これを撤回させる運動の中心を担う早稲田大学出講組合員の連絡・連携・連帯の組織です。102人で結成されたこの分会を数百人の規模へと発展させることがわたしたちの当面の組織目標です。これにより、早稲田大学の非常勤講師全体の不利益変更に対し、不同意の意思を代表することが可能となります。早稲田大学の非常勤講師が5年雇止め等の不利益変更を完全に撤回させることができるかどうかは、ひとえに早稲田ユニオン分会の組織と運動の発展にかかっています。

早稲田ユニオン分会の活動目的は、当面、不利益変更に伴うコマ減、雇止めをことごとく撤回させるとともに、就業規則自体の施行停止、修正を勝ち取ることです。しかし、この目的が実現されることになれば、その先には、現在とまったく異なる状況が現れることとなります。それは、今回の早稲田大学による不利益変更自体が、非正規雇用労働者の雇用の安定化と不合理な労働条件の改善という改正労働契約法の要請を無視し、潜脱しようと言う動機から行われているためです。この秋学期以降の運動の発展の先には、雇用継続の期待権の定着と無期契約転換による雇用の安定化、さらに不合理な労働条件の是正に向けた講師給の大幅な引上げ等、非常勤講師の処遇の抜本的改善の展望が切り拓かれます。

早稲田大学は、膨大な非正規雇用労働者群を使用していますが、その内部には非常勤講師よりさらに劣悪な労働条件の方々が含まれています。私たちは、早稲田大学の非正規雇用教職員の全体の処遇を劣悪なままに捨て置いて、非常勤講師の条件さえ改善されればよい、とは考えません。けれども、処遇改善を実現するのは、私たち自身の運動です。早稲田ユニオン分会は、早稲田大学に働くすべての非正規雇用教職員に門戸を開いています。早稲田大学を働きがいのある、誇るに足る職場としていくために、すべての非正規雇用教職員が力をあわせましょう。早稲田ユニオン分会は、そのために、様々な活動を展開していきます。

早稲田大学に働くすべての非常勤講師のみなさん、非正規雇用教職員のみなさん！

みなさんの雇用を守る砦であり、労働条件改善をめざす活動の拠り所である早稲田ユニオン分会が結成されたことをここに宣言します。すべてのみなさんがこの組合に参集されることを呼びかけるものです。

2013年9月21日

首都圏大学非常勤講師組合臨時総会・早稲田ユニオン分会結成集会